別紙様式５

令和5年度　　学 校 評 価 表　　（ 中間評価 ・最終評価 ）　　東広島市立磯松中学校

学校教育目標	確かな学力を身に付け、心豊かで活力にみちた生徒の育成		経営理念	安心と活気のある学校づくりを推進し、地域に元気や活力を与える学校を築く ○学力の向上を図る学校 ○規律と活気のある学校 ○組織的運営をする学校

評価計画									自己評価					学校関係者評価		改善方策
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	現状値	担当	達成値 10月	達成値 2月	達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
学力の向上を図る学校	1	基礎・基本の確実な定着を図り、自ら学ぶ生徒を育成する。	(1) 生徒が「楽しい」と感じる授業づくりをする。	○学習規律を徹底させ、落ち着いた雰囲気の中で生徒が主体的に学習に取り組むことができる授業づくりをする。	①学習・生活実態調査において、全教科の「学ぶことは楽しい」の回答を「はい」とする生徒の割合	60%	50.10%	教務部								
			(2)主体的・協働的に取り組める生徒を育成する授業づくりをする。	○ユニバーサルデザインを生かした環境づくりを土台としてユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を実践することで、「わかった・できた」喜びを実感させ，さらに学びたいという学習意欲を向上させる。	②主体的・協働的に取り組む資質能力の意識を測るアンケートの割合	80%以上		研究部								
			(3)ICTを活用した新しいスタイルを確立し、効果的な活用を充実させる。	○タブレット端末を授業展開や家庭学習等に活用する。 ○時間割や授業の配信等、個に応じた活用場面を選択させる取り組みを推進する。 ○校務等にICTを効果的に活用し、業務改善を図る。	③ICTを授業・学級活動・生徒対応・校務等に、効果的に活用しようとした教職員の割合	100%		GIGA								
規律と活気のある学校	2	豊かな心と健やかな体を育て、活力ある生徒を育み、不登校の未然防止に努める。	(1) 豊かな人間性と社会性を育てる。	○JASMIN（東広島スタンダード）を徹底する全校的な気運を高める。 ○生徒の主体的な活動（部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動等）を仕組み、自己肯定感を高める。	④「自分には良いところがある」と回答する生徒の割合（アンケート）	80%以上		生徒指導部								
			(2)「わかった・できた」という達成感を持たせ、学ぶ意欲を高める。	○授業に集中できる環境を整備する。 ○授業の流れを示し、見通しを持たせる。 ○授業内容を焦点化し、やりきらせる。	⑤各教科の授業満足度（アンケート）	80%以上		特支CO								
			(3)不登校の未然防止、解決に向けた取組を充実させる。	○週１回程度、定期的に不登校等生徒支援会議を開催し、不登校等生徒の状況を共有するとともに、取組方針等について協議する。 ○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心のサポーター、関係機関等を含めたチーム対応の推進。	⑥不登校生徒の人数（割合）	25人以下 （5%以下）	38人 （7.28%）	教育相談CO								
			(4)体力つくりの推進と生活習慣の確立を図る。	○新体力テストの結果を分析し、課題を踏まえた補強運動を実施する。 ○健康教育、食育の充実を図る。	⑦新体力テストで県平均を上回る種目数	過半数以上		健康安全部								
組織的運営をする学校	3	組織的な学校運営体制を確立し、保護者・地域に信頼される学校をつくる。	(1) 広島県の15歳の生徒に身に着けてもらいたい力を育む。	○一人一人の進路の保障に向けて、基礎的な学力の定着をはかる。 ○職業講話や職場体験活動を通して、望ましい職業観や勤労観が育成され、自己決定する力を育む。	⑧学校評価アンケート 「磯松中で学んでよかった」 「自分の考えをまとめたり発表することができる」	生徒92% 生徒90%	生徒　90.9 生徒　67	進路・キャリア部								
			(2) 地域に開かれ、地域に貢献する学校にする。	○各種通信、メール配信等で、学校の様子を丁寧に伝える。 ○学校行事等の教育活動の充実やボランティア活動の推進、日々のあいさつ等で地域に貢献する。	⑨学校の様子のメール配信 地域の人材を活用した活動	120回 10回以上		管理職								
働き方改革の推進	4	学校における業務改善・業務削減を推進するとともに、教職員の働き方に対する意識を変える。	(1) ワークライフバランスを図りながら、働きがいのある魅力のある職業にする。	○機能的な学校組織運営をし、ボトムアップを大切にした改革をする。 ○業務の効率化、先を見通した計画的な進行で、勤務時間の短縮をはかる。 ○頼みやすい雰囲気をつくり、チーム意識、チーム対応で充実感を共有する。	⑩教職員アンケート 「学校は働きがいがある」 「働きやすい職場である」	90%		管理職								

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

【目標達成率】 X ＝ 達成値/目標値×100

【割合の評価】　４：　X≧１００　　３：　80≦X＜１００　　２：　６０≦X＜８０
１：　X＜６０

■自己評価
4…目標を上回って達成　　3…目標どおりに達成
2…目標をやや下回って達成　1…目標をかなり下回って達成

■学校関係者評価
A…とても適切である　　B…概ね適切である